

お手数ですが、お手元のユーザーズマニュアルIM701530-11Jを下記のように変更してお使いください。

2-1ページ

リアパネル

ハーフピッチインタフェース用コネクタ*

別売のRS-232-Cユニットを接続するためのコネクタです。

* DL1540CLの内蔵ハードディスク付き(オプション)のモデルは、ハーフピッチインタフェース用コネクタが、SCSIインタフェース用コネクタになっているので、RS-232-Cユニットは接続できません。

「4.10 FILEグループ」に以下のコマンドを追加してください。

FILE:COPY:ACQuisition:EXECute

機能 内蔵ハードディスク内のアキュイジションデータのファイルをフロッピーディスクにコピーします。

構文 FILE:COPY:ACQuisition:EXECute

例 FILE:COPY:ACQuisition:EXECUTE

解説 内蔵ハードディスク(オプション)がない場合にはエラーになります。

FILE:COPY:ACQuisition:FORM

機能 波形データのコピーするデータ形式を設定/問い合わせします。

構文 FILE:COPY:ACQuisition:FORM {ASCI|BINary}

FILE:COPY:ACQuisition:FORM?

例 FILE:COPY:ACQuisition:FORM ASCII

FILE:COPY:ACQuisition:FORM? :FILE:COPY:ACQuisition:FORM ASCII

解説 内蔵ハードディスク(オプション)がない場合にはエラーになります。

FILE:COPY:ACQuisition:NAME

機能 アキュイジションデータのコピーするファイル名を設定します。

構文 FILE:COPY:ACQuisition:NAME <文字列>

<文字列>=8文字以内、本体ユーザーズマニュアル参照

例 FILE:COPY:ACQuisition:NAME "ACQ_1"

解説 内蔵ハードディスク(オプション)がない場合にはエラーになります。

FILE:COPY:I2C:EXECute

機能 内蔵ハードディスク内のI²Cバス解析結果のデータファイルをフロッピーディスクにコピーします。

構文 FILE:COPY:ACQuisition:EXECute

例 FILE:COPY:ACQuisition:EXECUTE

解説 内蔵ハードディスク(オプション)とI²Cバス解析機能(オプション)がない場合には、エラーになります。

FILE:COPY:I2C:NAME

機能 I²Cバス解析結果のデータのコピーするファイル名を設定します。

構文 FILE:COPY:I2C:NAME <文字列>

<文字列>=8文字以内、本体ユーザーズマニュアル参照

例 FILE:COPY:I2C:NAME "I2C_1"

解説 内蔵ハードディスク(オプション)とI²Cバス解析機能(オプション)がない場合には、エラーになります。

FILE:COPY:IMAGe:EXECute

機能 内蔵ハードディスク内の画面イメージデータのファイルをフロッピーディスクにコピーします。

構文 FILE:COPY:IMAGe:EXECute

例 FILE:COPY:IMAGe:EXECUTE

解説 内蔵ハードディスク(オプション)がない場合にはエラーになります。

FILE:COPY:IMAGe:FORMat

機能 コピーする画面イメージデータのセーブ形式を設定/問い合わせします。

構文 FILE:COPY:IMAGe:FORMat {HPGL|PSCRipt|TIFF|BMP}

FILE:COPY:IMAGe:FORMat?

例 FILE:COPY:IMAGe:FORMat HPGL

FILE:COPY:IMAGe:FORMat? :FILE:COPY:IMAGe:FORMat HPGL

解説 内蔵ハードディスク(オプション)がない場合にはエラーになります。

FILE:COPY:IMAGe:NAME

機能 画面イメージデータのコピーするファイル名を設定します。

構文 FILE:COPY:IMAGe:NAME <文字列>

<文字列>=8文字以内、本体ユーザーズマニュアル参照

例 FILE:COPY:IMAGe:NAME "IMAGe_1"

解説 内蔵ハードディスク(オプション)がない場合にはエラーになります。

FILE:COpy:SEtUp:EXECute

機能 内蔵ハードディスク内の設定データのファイルをフロッピーディスクにコピーします。

構文 FILE:COpy:SEtUp:EXECute

例 FILE:COpy:SEtUp:EXECUTE

解説 内蔵ハードディスク(オプション)がない場合にはエラーになります。

FILE:COpy:SEtUp:NAME

機能 設定データのコピーするファイル名を設定します。

構文 FILE:COpy:SEtUp:NAME <文字列>
<文字列>=8文字以内, 本体ユーザーズマニュアル参照

例 FILE:COpy:SEtUp:NAME "SEtUp_1"

解説 内蔵ハードディスク(オプション)がない場合にはエラーになります。

FILE:COpy:TRACe:EXECute

機能 内蔵ハードディスク内の表示波形データのファイルをフロッピーディスクにコピーします。

構文 FILE:COpy:TRACe:EXECute

例 FILE:COpy:TRACe:EXECUTE

解説 内蔵ハードディスク(オプション)がない場合にはエラーになります。

FILE:COpy:TRACe:NAME

機能 表示波形データのコピーするファイル名を設定します。

構文 FILE:COpy:TRACe:NAME <文字列>
<文字列>=8文字以内, 本体ユーザーズマニュアル参照

例 FILE:COpy:TRACe:NAME "TRACe_1"

解説 内蔵ハードディスク(オプション)がない場合にはエラーになります。

FILE:DELete:ACQuisition:FORM

機能 波形データの削除するデータ形式を設定/問い合わせします。

構文 FILE:DELete:ACQuisition:FORM {ASCIi|BINary}
FILE:DELete:ACQuisition:FORM?

例 FILE:DELete:ACQuisition:FORM ASCII
FILE:DELete:ACQuisition:FORM? :FILE:DELete:ACQuisition:FORM ASCII

FILE:DELete:I2C:EXECute

機能 I²Cバス解析結果のファイルの削除を実行します。

構文 FILE:DELete:I2C:EXECute

例 FILE:DELete:I2C:EXECUTE

解説 I²Cバス解析機能(オプション)がない場合にはエラーになります。

FILE:DELete:I2C:NAME

機能 I²Cバス解析結果の削除するファイル名を設定します。

構文 FILE:DELete:I2C:NAME <文字列>
<文字列>=8文字以内, 本体ユーザーズマニュアル参照

例 FILE:DELete:I2C:NAME "I2C_1"

解説 I²Cバス解析機能(オプション)がない場合には、エラーになります。

FILE:DELete:IMAGe:EXECute

機能 画面イメージデータのファイルの削除を実行します。

構文 FILE:DELete:IMAGe:EXECute

例 FILE:DELete:IMAGe:EXECUTE

FILE:DELete:IMAGe:FORMat

機能 削除する画面イメージデータのセーブ形式を設定/問い合わせします。

構文 FILE:DELete:IMAGe:FORMat {HPGL|PSCRipt|TIFF|BMP}

例 FILE:DELete:IMAGe:FORMat HPGL
FILE:DELete:IMAGe:FORMat? :FILE:DELete:IMAGe:FORMat HPGL

FILE:DELete:IMAGe:NAME

機能 画面イメージデータの削除するファイル名を設定します。

構文 FILE:DELete:IMAGe:NAME <文字列>
<文字列>=8文字以内, 本体ユーザーズマニュアル参照

例 FILE:DELete:IMAGe:NAME "IMAGe_1"

FILE:DRIVE

機能 FILEコマンドでコントロールする記憶媒体(メディア)を設定/問い合わせします。
FLOppyまたはAはフロッピーディスクを, SCSIまたはBはSCSIを, HDまたはCは内蔵ハードディスクを設定します。
問い合わせに対しては, AまたはBまたはCで応えます。

構文 FILE:DRIVE {A|B|C|FLOppy|SCSI|HD}
FILE:DRIVE?

例 FILE:DRIVE FLOppy
FILE:DRIVE? :FILE:DRIVE A

解説

- SCSIは, 内蔵ハードディスク(オプション)がある場合, または別売のSCSIインタフェースユニット700930を介して使用可能です。
- HDは, 内蔵ハードディスク(オプション)がある場合に使用可能です。
- 内蔵ハードディスクがないモデルで, 別売のSCSIインタフェースユニット700930を使用しない場合は, エラーになります。

FILE:PROTECT:ACQUISITION:FORM

機能 波形データのプロテクトするデータ形式を設定/問い合わせします。

構文 FILE:PROTECT:ACQUISITION:FORM {ASCII|BINARY}
FILE:PROTECT:ACQUISITION:FORM?

例 FILE:PROTECT:ACQUISITION:FORM ASCII
FILE:PROTECT:ACQUISITION:FORM? :FILE:
PROTECT:ACQUISITION:FORM ASCII

FILE:PROTECT:I2C:EXECUTE

機能 I²Cバス解析結果データのファイルのプロテクトを実行します。

構文 FILE:PROTECT:I2C:EXECUTE

例 FILE:PROTECT:I2C:EXECUTE

解説 I²Cバス解析機能(オプション)がない場合には、エラーになります。

FILE:PROTECT:I2C:NAME

機能 I²Cバス解析結果データのプロテクトするファイル名を設定します。

構文 FILE:PROTECT:I2C:NAME <文字列>
<文字列>=8文字以内、本体ユーザーズマニュアル参照

例 FILE:PROTECT:I2C:NAME "I2C_1"

解説 I²Cバス解析機能(オプション)がない場合には、エラーになります。

FILE:PROTECT:IMAGE:EXECUTE

機能 画面イメージデータのファイルのプロテクトを実行します。

構文 FILE:PROTECT:IMAGE:EXECUTE

例 FILE:PROTECT:IMAGE:EXECUTE

FILE:PROTECT:IMAGE:FORMAT

機能 プロテクトする画面イメージデータのセーブ形式を設定/問い合わせします。

構文 FILE:PROTECT:IMAGE:FORMAT {HPGL|PSCRIPT|
TIFF|BMP}
FILE:PROTECT:IMAGE:FORMAT?

例 FILE:PROTECT:IMAGE:FORMAT HPGL
FILE:PROTECT:IMAGE:FORMAT? :FILE:PROTECT:
IMAGE:FORMAT HPGL

FILE:PROTECT:IMAGE:NAME

機能 画面イメージデータのプロテクトするファイル名を設定します。

構文 FILE:PROTECT:IMAGE:NAME <文字列>
<文字列>=8文字以内、本体ユーザーズマニュアル参照

例 FILE:PROTECT:IMAGE:NAME "IMAGE_1"

「4.12 GONOGOグループ」の以下のコマンドを訂正してください。

GONOGO:PARAMETER:ACTION

機能 パラメータ判定のNO-GO時の動作を設定/問い合わせします。

構文 GONOGO:PARAMETER:ACTION {NONE|PRINT|FDPP|
FDBINARY|FDIMAGE|SCPP|SCBINARY|SCIMAGE|
HDPP|HDBINARY|HDIMAGE}

GONOGO:PARAMETER:ACTION?

例 GONOGO:PARAMETER:ACTION NONE

GONOGO:PARAMETER:ACTION? :GONOGO:PARAMETER:
ACTION NONE

解説

- SCPP, SCBINARY, SCIMAGEは、別売のSCSIインタフェースユニット700930、またはSCSIインタフェース用コネクタ(/C8オプション)を介して使用可能です。
- SCPP, SCBINARY, SCIMAGEは、SCSI接続時のみ設定できます。
- HDPP, HDBINARY, HDIMAGEは内蔵ハードディスク(オプション)があるときに使用可能です。

GONOGO:ZONE:ACTION

機能 ゾーン判定のNO-GO時の動作を設定/問い合わせします。

構文 GONOGO:ZONE:ACTION {NONE|PRINT|FDPP|
FDBINARY|FDIMAGE|SCPP|SCBINARY|SCIMAGE|
HDPP|HDBINARY|HDIMAGE}

GONOGO:ZONE:ACTION?

例 GONOGO:ZONE:ACTION NONE

GONOGO:ZONE:ACTION? :GONOGO:ZONE:ACTION NONE

解説

- SCPP, SCBINARY, SCIMAGEは、別売のSCSIインタフェースユニット700930、またはSCSIインタフェース用コネクタ(/C8オプション)を介して使用可能です。
- SCPP, SCBINARY, SCIMAGEは、SCSI接続時のみ設定できます。
- HDPP, HDBINARY, HDIMAGEは内蔵ハードディスク(オプション)があるときに使用可能です。

「4.13 HCOPIグループ」に以下のコマンドを追加/訂正してください。

HCOPI:EQUIPMENT

機能 出力媒体を設定/問い合わせします。

構文 HCOPI:EQUIPMENT {PRINTER|PLOTTER|FLOPPY|
EXTPRINTER|SCSI|HD}
HCOPI:EQUIPMENT?

例 HCOPI:EQUIPMENT PRINTER

HCOPI:EQUIPMENT? :HCOPI:
EQUIPMENT PRINTER

解説

- SCSIは、別売のSCSIインタフェースユニット700930、またはSCSIインタフェース用コネクタ(オプション)を介して使用可能です。
- SCSIは、接続されている時のみ設定できます。
- HDは、内蔵ハードディスク(オプション)がある場合に使用可能です。

HCOPY:EXTPrinter:RESolution

機能	BJ形式で外部プリンタへ出力するときの解像度の設定/問い合わせします。
構文	HCOPY:EXTPrinter:RESolution {<Nrf>} HCOPY:EXTPrinter:RESolution? <Nrf> = 180,300,360(dpi)
例	HCOPY:EXTPRINTER:RESOLUTION 360 HCOPY:EXTPRINTER:RESOLUTION? :HCOPY: EXTPRINTER:RESOLUTION 360

HCOPY:HD?

機能	内蔵ハードディスクへ画面イメージデータをセーブする設定値をすべて問い合わせます。
構文	HCOPY:HD?
例	HCOPY:HD? :HCOPY:HD:FORMAT HPGL;ANAMING 0; TONE OFF;COMPRESSION 0;PFORMAT A4WAVE;SPEED NORMAL; XYMODE DOT;PEN:MODE AUTO;AUTO 5;MANUAL:GRID 1;TRACE1 2;TRACE2 3; TRACE3 4;TRACE4 5;LOAD1 6;LOAD2 7; LOAD3 8;LOAD4 9
解説	・内蔵ハードディスク(オプション)がない場合には、エラーになります。

HCOPY:HD:ANAMing

機能	内蔵ハードディスクへ出力する画面イメージデータのファイル名のオートネーミングを設定/問い合わせします。
構文	HCOPY:HD:ANAMing {<Boolean>} HCOPY:HD:ANAMing?
例	HCOPY:HD:ANAMING ON HCOPY:HD:ANAMING? :HCOPY:HD: ANAMING ON
解説	・内蔵ハードディスク(オプション)がない場合には、エラーになります。

HCOPY:HD:COMPression

機能	出力する画面イメージデータの圧縮する(ON)/しない(OFF)を設定/問い合わせします。
構文	HCOPY:HD:COMPression {<Boolean>} HCOPY:HD:COMPression?
例	HCOPY:HD:COMPRESSION ON HCOPY:HD:COMPRESSION? :HCOPY:HD:COMPRESSION 1
解説	・内蔵ハードディスク(オプション)がない場合には、エラーになります。

HCOPY:HD:EXECute

機能	内蔵ハードディスクへ画面イメージデータのセーブを実行します。
構文	HCOPY:HD:EXECute
例	HCOPY:HD:EXECUTE
解説	・内蔵ハードディスク(オプション)がない場合には、エラーになります。

HCOPY:HD:FORMat

機能	内蔵ハードディスクへ出力する画面イメージデータのセーブ形式を設定/問い合わせします。
構文	HCOPY:HD:FORMat {HPGL;PSCRIPT;TIFF;BMP} HCOPY:HD:FORMat?
例	HCOPY:HD:FORMAT TIFF HCOPY:HD:FORMAT? :HCOPY:HD:FORMAT TIFF
解説	・内蔵ハードディスク(オプション)がない場合には、エラーになります。

HCOPY:HD:NAME

機能	内蔵ハードディスクへ出力する画面イメージデータのファイル名を設定します。
構文	HCOPY:HD:NAME {<文字列>} <文字列>=8文字以内
例	HCOPY:HD:NAME "IMAGE_1"
解説	・オートネーミングがオンになっている時は、設定したファイル名のうち最初の5文字が共通名になり、3桁の番号が自動的に付きます。 ・内蔵ハードディスク(オプション)がない場合には、エラーになります。

HCOPY:HD:PEN?

機能	内蔵ハードディスクへ出力する画面イメージデータのペンに関する設定値をすべて問い合わせします。
構文	HCOPY:HD:PEN?
例	HCOPY:HD:PEN? :HCOPY:HD:PEN: MODE AUTO;AUTO 5;MANUAL:GRID 1; TRACE1 2;TRACE2 3;TRACE3 4;TRACE4 5; LOAD1 6;LOAD2 7;LOAD3 8;LOAD4 9
解説	・内蔵ハードディスク(オプション)がない場合には、エラーになります。

HCOPY:HD:PEN:AUTO

機能	内蔵ハードディスクへ出力する画面イメージデータのペンの割り当て方法がオート時のペン数を設定/問い合わせします。
構文	HCOPY:HD:PEN:AUTO {<Nrf>} HCOPY:HD:PEN:AUTO? <Nrf>=1~5
例	HCOPY:HD:PEN:AUTO 5 HCOPY:HD:PEN:AUTO? :HCOPY:HD:PEN: AUTO 5
解説	・内蔵ハードディスク(オプション)がない場合には、エラーになります。

HCOPY:HD:PEN:MANual?

機能 内蔵ハードディスクへ出力する画面イメージデータのペンの割り当て方法がマニュアル時の設定値をすべて問い合わせします。

構文 HCOpy:HD:PEN:MANual?

例 HCOpy:HD:PEN:MANual? :HCOpy:HD:PEN:MANual:
GRID 1;TRACE1 2;TRACE2 3;
TRACE3 4;TRACE4 5;LOAD1 6;LOAD2 7;
LOAD3 8;LOAD4 9

解説 ・内蔵ハードディスク(オプション)がない場合には、エラーになります。

HCOPY:HD:PEN:MANual:GRID

機能 内蔵ハードディスクへ出力する画面イメージデータのペンの割り当て方法がマニュアル時のグラフィックル、カーソルなどのペン番号を設定/問い合わせします。

構文 HCOpy:HD:PEN:MANual:GRID {<Nrf>}

HCOpy:HD:PEN:MANual:GRID?

<Nrf>=0 ~ 12

例 HCOpy:HD:PEN:MANual:GRID 1

HCOpy:HD:PEN:MANual:GRID? :HCOpy:HD:PEN:
MANual:GRID 1

解説 ・内蔵ハードディスク(オプション)がない場合には、エラーになります。

HCOPY:HD:PEN:MANual:LOAD<x>

機能 内蔵ハードディスクへ出力する画面イメージデータのペンの割り当て方法がマニュアル時の各ロードトレースのペン番号を設定/問い合わせします。

構文 HCOpy:HD:PEN:MANual:LOAD<x> {<Nrf>}

HCOpy:HD:PEN:MANual:LOAD<x>?

<x>=1 ~ 4

<Nrf>=0 ~ 12

例 HCOpy:HD:PEN:MANual:LOAD1 6

HCOpy:HD:PEN:MANual:LOAD1? :HCOpy:HD:PEN:
MANual:LOAD1 6

解説 ・内蔵ハードディスク(オプション)がない場合には、エラーになります。

HCOPY:HD:PEN:MANual:TRACe<x>

機能 内蔵ハードディスクへ出力する画面イメージデータのペンの割り当て方法がマニュアル時の各トレースのペン番号を設定/問い合わせします。

構文 HCOpy:HD:PEN:MANual:TRACe<x> {<Nrf>}

HCOpy:HD:PEN:MANual:TRACe<x>?

<x>=1 ~ 4

<Nrf>=0 ~ 12

例 HCOpy:HD:PEN:MANual:TRACE1 2

HCOpy:HD:PEN:MANual:TRACE1? :HCOpy:HD:PEN:
MANual:TRACE1 2

解説 ・内蔵ハードディスク(オプション)がない場合には、エラーになります。

HCOPY:HD:PEN:MODE

機能 内蔵ハードディスクへ出力する画面イメージデータのペンの割り当て方法を設定/問い合わせします。

構文 HCOpy:HD:PEN:MODE {AUTO|MANual}

HCOpy:HD:PEN:MODE?

例 HCOpy:HD:PEN:MODE AUTO

HCOpy:HD:PEN:MODE? :HCOpy:HD:PEN:MODE AUTO

解説 ・内蔵ハードディスク(オプション)がない場合には、エラーになります。

HCOPY:HD:PFORmat

機能 内蔵ハードディスクへ出力する画面イメージデータの出力サイズを設定/問い合わせします。

構文 HCOpy:HD:PFORmat {A3Wave|A3Condition|

A4Wave|A4Condition|A5UWave|A5LWave|

A5Condition|A5Measure}

HCOpy:HD:PFORmat?

例 HCOpy:HD:PFORmat A4WAVE

HCOpy:HD:PFORmat? :HCOpy:HD:

PFORmat A4WAVE

解説 ・内蔵ハードディスク(オプション)がない場合には、エラーになります。

HCOPY:HD:SPEEd

機能 内蔵ハードディスクへ出力する画面イメージデータのペンスピードを設定/問い合わせします。

構文 HCOpy:HD:SPEEd {Normal|LOW}

HCOpy:HD:SPEEd?

例 HCOpy:HD:SPEED NORMAL

HCOpy:HD:SPEED? :HCOpy:HD:

SPEED NORMAL

解説 ・内蔵ハードディスク(オプション)がない場合には、エラーになります。

HCOPY:HD:TONE

機能 出力する画面イメージデータの色調を設定/問い合わせします。

構文 HCOpy:HD:TONE {OFF|GRAY|HALF|FULL}

HCOpy:HD:TONE?

例 HCOpy:HD:TONE FULL

HCOpy:HD:TONE? :HCOpy:HD:TONE FULL

解説 ・内蔵ハードディスク(オプション)がない場合には、エラーになります。

HCOPY:HD:XYMode

機能 内蔵ハードディスクへ出力する画面イメージデータのX-Y波形のプロット方式を設定/問い合わせします。

構文 HCOpy:HD:XYMode {DOT|LINE}

HCOpy:HD:XYMode?

例 HCOpy:HD:XYMODE LINE

HCOpy:HD:XYMODE? :HCOpy:HD:

XYMODE LINE

解説 ・サンプリング点を点打ち(DOT)するか、線ではなく(LINE)かを選択できます。
・内蔵ハードディスク(オプション)がない場合には、エラーになります。

SYSTemグループに以下のコマンドを追加してください。

SYSTem:CONFIg:EXTernalid

機能 外付けSCSIデバイスのSCSI-ID番号を設定/問い合わせします。

構文 SYSTem:CONFIg:EXTernalid {<NRf>}
SYSTem:CONFIg:EXTernalid?

<NRf> = 0~3,5

例 SYSTem:CONFIg:EXTernalID 1
SYSTem:CONFIg:EXTernalID? :SYSTem:CONFIg:
EXTernalID 1

解説

- ・内蔵ハードディスク(オプション)がない場合には、SCSI-ID番号は変更できません。
- ・内蔵ハードディスク付きのモデルだけ、設定/問い合わせできます。

SYSTem:CONFIg:HDMotor

機能 内蔵ハードディスク(オプション)のモータのON/OFFを設定/問い合わせします。

構文 SYSTem:CONFIg:HDMotor {<Boolean>}
SYSTem:CONFIg:HDMotor?

例 SYSTem:CONFIg:HDMOTOR ON
SYSTem:CONFIg:HDMOTOR? :SYSTem:CONFIg:
HDMOTOR 1

解説

- ・内蔵ハードディスク(オプション)がない場合には、エラーになります。

「4.27 TRIGgerグループ」の以下のコマンドを訂正してください。

TRIGger:ACTion:MODE

機能 アクションオントリガの動作を設定/問い合わせします。

構文 TRIGger:ACTion:MODE {FDBinary!FDPP!FDIMage!
PRINT!SCBinary!SCIMage!SCPP!HDPP!HDBinary!
HDIMage}
TRIGger:ACTion:MODE?

例 TRIGGER:ACTION:MODE FDPP
TRIGGER:ACTION:MODE? :TRIGGER:ACTION:MODE
FDPP

解説

- ・SCPP, SCBinary, SCIMageは、別売のSCSIインタフェースユニット700930、またはSCSIインタフェース用コネクタ(/C8オプション)を介して使用可能です。
- ・SCPP, SCBinary, SCIMageは、SCSI接続時のみ設定できます。
- ・HDPP, HDBinary, HDIMageは内蔵ハードディスク(オプション)があるときに使用可能です。